
三木市人権尊重のまちづくり推進審議会議事録

■ 開催日時

令和 8 年 3 月 2 5 日（火） 1 0 : 3 0 ~ 1 2 : 0 0

■ 開催場所

三木市役所 5 階 大会議室

■ 出席者

（委員） 1 2 人

（行政） 1 2 人

（事務局） 5 人

1 開会

2 開会あいさつ

五百住審議会会長、石田副市長

3 議事進行

五百住審議会会長

4 審議事項

令和 7 年度「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」年間取組状況について

（事務局）

基本計画の概要版と資料 3 実施計画年間取組状況をもとに説明

【委員】

人権に関しては他市町の模範となる三木市であるから他市町に先駆けて業者選定において、男女共同参画に積極的に取り組む企業への加点点評価システムの採用について検討してほしい。

【部長】

今後、近隣市町の動向を確認しながら導入について検討していきます。

【会長】

総合加点方式について説明

【委員】

男女共同参画に取り組む事業を優先、あるいは兵庫県の男女共同参画の評定を基準にすれば、事務負担も少なく済むのではないのでしょうか。

【部長】

今後、企業とともに検討していきたいと思います。

【委員】

外国人も対象ですか。

【部長】

国籍等に関係なく、入札参加者資格を有する登録業者が対象となる認識です。

【委員】

目標値を記載することで、とても分かりやすくなりました。それをもとにして来年度の目標値をしっかりと定めることが大事だと思います。

また、今年度目標値が設定できるのにされていない項目がありましたが、目標値を定める、数値のアップデートを図ることは大切ではないでしょうか。そして、人権施策は人権推進課だけで完結するものではありませんので、人権推進課を中心に全庁で取り組んでほしいと思います。

【委員】

外国人はこの10年で3倍になり、2,000人を超えています。外国人の方からのアクションはすごく勇気のいることなので、私たちから歩み寄っていくように心がけたいです。細かいところにも目を配る必要

があると思います。

【事務局】

貴重なご意見ですので、庁内で共有したいと思います。

【会長】

外国人の対応は急務だと思います、三木市や小野市、加東市も含めたエリアで考えて取り組み、その中で三木市からも課題等を発信していくことが大事です。

【委員】

三木市のいっそうの活性化を図るため、外国人の方や若い世代、あるいは子育て中の女性なども力を発揮できる社会になればいいと思います。

【委員】

特に農村部では自治会の役員が、自主防災組織の役員も兼ねるところが多いのですが、自主防災組織の役員に女性が参加しやすいように、広報とか編成に重きを置いてほしい。それによって自治会活動も活性化するのはないでしょうか。

【部長】

自主防災組織においては、女性の意見を積極的に取り入れていく方法として、自主防災組織の役員と自治会の役員はイコールではないという考え方や、男女共同参画も考慮して役員を選出していただきたいことなどの啓発に努めてまいりたい。

【委員】

防災等において、女性は地域や生活により密着していると考えています。そういった女性の視点も大事ですので、自主防災組織の役員イコール自治会の役員でなくてもいいのではないかと思います。

【部長】

地域内の女性にもっと活躍してもらいたいという動きがここ2年ほど、農村部で出てきています。また、役員の成り手がないという問題

もあり、男女共同の参画の視点で自治活動や地域づくりを、市として考えております。

【委員】

途上国に数多くいっている経験から、日本に来られた外国の方に対して、日本の文化や風習をしっかりと丁寧に伝え理解していただくとともに、日本人の外国人に対して偏見を持つのではなく、友好的な関係を築いていくべきだと思います。

また、部長が言われた女性の役員への登用について積極的に取り入れていきたい。

【委員】

三木市の障がい福祉はすごく行き届いている。自分の子どもに障がいがあると不安を抱えられると思いますが、市の制度がどれほど整っているかを知ることを目的として「子ども未来トーク」を始めました。そこで市の協力を得ながらさまざまな情報、制度を学び、共通理解して知識もずいぶんいただいたと思います。

この会の存在を知っていただいて、ずっと続けていってほしいと思います。

【委員】

三木市身体障害者福祉協会ですが、副会長ほかもう一人役員が亡くなられたことや会員数が1,000人いたのに今は200人を切っている現状です。アップアップしていますので、ぜひ協会の宣伝をお願いしたい。

【委員】

男女共同参画に積極的に取り組む企業への加点評価システムの採用については、詳しくは分かっていませんが、きっちりとした基準を作らないと、差別化ととらえられる恐れがでてくるのではないのでしょうか。

また、途上国だけでなく、先進国といわれる外国からの訪日の方に対しても日本の文化や風習をしっかりと丁寧に伝え理解していただく必要があると感じています。

【会長】

委員皆様のご意見をいただきありがとうございました。事務局におかれましては、各委員のご意見をくみ取っていただき施策に生かしていただければと思います。

【事務局】

次回の日程につきましては、令和8年10月を予定しております。確定し次第、改めてご通知します。よろしくお願いいたします。

【会長】

本日は貴重なご意見本当にありがとうございました。

5 閉会あいさつ

篠原審議会副会長